総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（令和2年度）

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区 (5/7)

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 （愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市　等）	3.8	3.5 進捗度 ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の新増設件数 140% ・中部地域における航空宇宙産業の生産高 62% ・中部地域における航空機・部品の生産高 69% 等	3.7 規制の特例等 ・工場等新増設促進事業 等 財政支援等 ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援利子補給金 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	4.0	・毎回非常にうまく進んでいる印象である。 ・工場立地規制法の弾力的運用等積極的な活用が進んでいる。ボーイング事業の金融支援の効果も期待したい。 ・工場等の新増設が実績を上げているが、これに連動する生産高、輸出額、および雇用者数に関する経過についての情報共有が望まれる。